

日本医学会分科会活動報告

学会名(No.100) 日本透析医学会

代表者名 友 雅 司

I. 本学会の日本医学会分科会としての過去5年間の活動の自己点検について記載いたしました。医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる本学会の独自の活動を以下に留意して記載いたしました。

a. 特に学術的に重要と考えられるもの

- ・全透析患者の毎年の実態調査（統計調査委員会）
- ・全透析患者に関する臨床研究と報告（統計調査委員会、学術委員会）
- ・透析医療におけるエビデンスに基づくガイドラインの作製（学術委員会）
- ・研究の推進と透析医療の発展への寄与（毎年の学術集会開催）
- ・緊急時対応と医療体制の構築（災害時対応、COVID-19 対策）
- ・適切な診療体制の確立を目指した活動

b. 当該領域における国際的な役割

- ・他国の透析学会、腎臓学会との国際交流と国際協力
- ・他国のデータベースの確認と国際交流（統計調査委員会）
- ・国際学術誌 Renal Replacement Therapy (RRT)の発刊
- ・発展途上国への援助と学問的交流、人事面での交流（総務委員会）

c. 活動からもたらされる社会的な意義

- ・適切な腎不全診療体制の構築と維持
- ・最先端の医療を患者に提供できる体制を構築
- ・最先端医療の開発と研究の推進
- ・腎不全患者への最高の医療を提供できるよう活動をしている
- ・災害時や感染症蔓延時に緊急対応できるような医療体制の構築に努める

d. 学会運営上留意している点

- ・学会の活性化を目指す
- ・患者に最高の医療を提供できるよう常に配慮する
- ・他学会との連携、協力体制の構築を目指す
- ・財政面での安定化を目指す

II. 日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動を記載いたします。

関連学会である、日本腎臓学会、日本腹膜透析医学会、日本臨床腎移植学会、日本移植学会、日本腎不全看護学会、日本腎臓病薬物療法学会、日本臨床工学技士会などと連携体制を構築できるよう、常に連絡を取り合っている。

国際学術誌 Renal Replacement Therapy (RRT) は関連7学会（日本腹膜透析医学会、日本急性血液浄化学会、日本臨床腎移植学会、日本腎臓リハビリテーション学会、日本腎臓病薬物療法

学会、日本腎不全看護学会、日本小児腎臓病学会)が参加して発行している。

交流の要の機関として一般社団法人 腎代替療法医療専門職推進協会を関連学会(日本腎不全看護学会、日本腎臓学会、日本腎臓病薬物療法学会、日本腹膜透析医学会、日本臨床工学技士会、日本臨床腎移植学会)とともに2021年に設立し、今後共同運営を行っていく。